

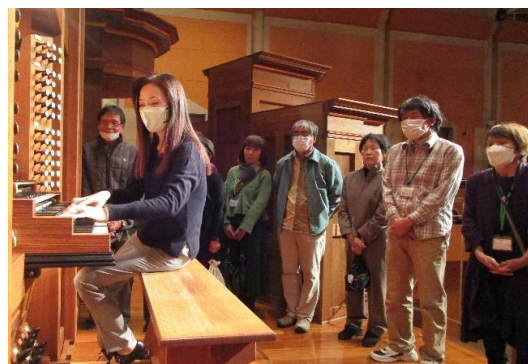
令和5年度とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 12月の講座紹介

今月は、コンサートホールの見学。ここでは、クラシックを中心とした音楽専用ホール。そのため響きがとても良いのです。ホールのシンボルであるパイプオルガンの荘厳な音色を聞いた後で、舞台の裏側を見せていただき、施設の素晴らしさと裏方としてコンサートを支える職員の心意気に感動しました。

豊田の施設見学 12月6日（水） ～コンサートホールとパイプオルガン～



講師：徳岡めぐみ氏



パイプオルガンを間近に見ました！



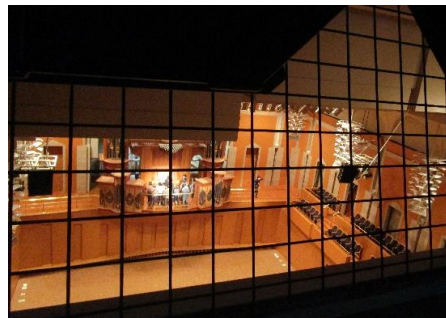
響きの良さについて解説する職員



音響や照明の操作室も見学



有名人のサインを発見！ ほぼ天井の高さから舞台を見ると...



舞台にも上がらせていただきました

受講生の感想（抜粋）

- ・コンサートホールには良く出かけますが、裏側で働いている方達の事は考えたことがなかったです。私達が気持ちよく音楽を楽しむのは、裏方さんのお陰だと気づき感謝します。パイプオルガンについては、丁寧な説明をして頂き、大満足です。
- ・調光、音響室や高い位置の照明も見学でき、業務の全体像が見えて良かった。ホールの響きもパイプオルガンの音色も相変わらず良い。質問も活発に出て面白かった。
- ・徳岡めぐみさんの「トッカータとフーガ二短調」の生演奏に圧倒され、感激しました。ピアノ3台とチェンバロを見る事ができ、所蔵品の素晴らしさを感じました。音響と照明の操作の話も大変興味深かった。

日本の文化を考える 12月11、18日（月） ～東アジアの歴史から見えてくること～



日本、中国と朝鮮は、それぞれ独自の文化を持っています



講師：長澤志穂氏

東アジア諸国の歴史や文化を比較して、日本人の考え方やふるまい方をとらえなおしてみましよう。身近なところでは、文学や焼き物、料理などを比べると、見えてくるものがあります。

受講生の感想（抜粋）

- ・元寇について、昔習った知識が新しい知識に置き換わった。元寇でもし日本が支配されていたら、今の日本はどうなっていたかと想像をかき立てられた。日本と中国と朝鮮のそれぞれの歩みの違いが、今の国際情勢と地続きであることが分かった。
- ・平易な説明で分かり易かった。歴史や社会現象については、不明な点も見方の違いもあるが、日本・朝鮮・中国の対比で歴史を考えるのは面白い。



熱心に講義を聴く受講生達



質問もたくさん出ました。さすがです！